

問1	平清盛は、自らが太政大臣に就任して権力を掌握した後、かつての摂関政治にならった方法で政治的な基盤を固めました。清盛が行った、天皇との関係を強化するための手法として最も適切な説明を選びなさい。 （2018年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 全国の武士と主従関係を結び、土地の所有権を保証する代わりに軍役を課した	2. 娘を天皇の妃とし、その間に生まれた子を天皇に即位させて外戚となった	3. 遣唐使の派遣を再開し、大陸の進んだ政治制度を積極的に導入した	4. 院政を行う上皇を幽閉し、武士独自の新しい法律を制定して全国を統治した
問2	中国地方と四国地方の各県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県は全部で3つあります。その県名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 （2019年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 島根県、愛媛県、香川県	2. 山口県、愛媛県、高知県	3. 島根県、徳島県、香川県	4. 鳥取県、島根県、山口県
問3	世界の諸地域の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり400人を超え、国土面積に占める農地の割合が5割を上回るという特徴を持つ国と、人口密度が1平方キロメートルあたり30人未満と低く、アマゾン川流域を中心に国土の約6割弱が森林に覆われているという特徴を持つ国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 （2021年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 中国とブラジル	2. 中国とロシア	3. インドと南アフリカ共和国	4. インドとブラジル
問4	16世紀後半、織田信長や豊臣秀吉が活躍した時代に、戦国大名や豪商（大商人）の富や権力を背景として形成された、豪華で壮大な特色を持つ文化を何と呼ぶか。 （2018年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 化政文化	2. 桃山文化	3. 元禄文化	4. 東山文化
問5	1931年に奉天郊外の柳条湖で、南満州鉄道の線路が爆破された事件をきっかけに、日本の関東軍が中国東北部（満州）を占領した一連の軍事行動を何といいますか。 （2024年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 義和団事件	2. シベリア出兵	3. 満州事変	4. 日中戦争
問6	日清戦争の講和条約である下関条約により、日本は清から台湾、澎湖諸島とともに、ある半島を譲り受けました。しかしその後、ロシア・フランス・ドイツの3カ国が日本に対して、その地域を清に返すよう要求した出来事を何と呼ぶか、次から選びなさい。 （2020年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 日英同盟	2. ポツダム宣言	3. 三国干渉	4. ポーツマス条約
問7	約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 （2024年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された	2. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた	3. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した	4. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた
問8	室町時代後半から戦国時代にかけて、実力のある者が身分の高い者に打ち勝って勢力を広げていく社会風潮が見られました。このような風潮を何と呼びますか。 （2022年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 惣領制	2. 下剋上	3. 寄合	4. 徳政令
問9	江戸時代の九十九里浜では地引網による大規模な鰯漁が行われていましたが、そこで獲れた鰯の多くは食料としてではなく、農村で使われる肥料に加工されていました。このように現金で購入された肥料の代表例として、正しい組み合わせはどれですか。 （2020年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 厩肥（きゅうひ）	2. 緑肥（りよくひ）	3. 堆肥（たいひ）	4. 干鰯（ほしか）
問10	日本の原油輸入に関する2021年時点の状況について、輸入相手国の上位3か国の正しい組み合わせはどれですか。 （2024年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 1位：アメリカ合衆国、2位：中国、3位：マレーシア	2. 1位：サウジアラビア、2位：アラブ首長国連邦、3位：クウェート	3. 1位：オーストラリア、2位：インドネシア、3位：ロシア	4. 1位：ブラジル、2位：オーストラリア、3位：カナダ
問11	大分県の北部において、冬の時期に降水量（降雪）が多くなる傾向がある理由を、地形と風の観点から説明したものとして適切なものはどれか。 （2020年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 日本海側から吹き込む乾燥した季節風が、県の中央部にある高い山地を越える際に、瀬戸内海からの水蒸気を吸収して雨を降らせるため。	2. 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。	3. 太平洋から吹く温暖な季節風が、南部から北上する際になだらかな山地を越え、その過程で冷却されて北部に雪をもたらすため。	4. 四国山地を越えてきた湿った季節風が、県の中央部にある盆地状の地形に停滞し、冬の低温によって雪へと変化するため。
問12	日本の製造業によるアジア地域への進出の背景を、労働コストの観点から考察した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、賃金の比較は2016年度の統計資料に基づき、東京の賃金指数を100とした数値で考えるものとします。 （2019年 熊本県公立入試 類似）			
	1. アジア地域の賃金は日本より高いため、製品の販売価格を上げることを目的に現地法人が設立された。	2. ベトナムのハノイなどは指数が10を下回るほど賃金が低く、低コストでの生産が可能であるため進出が進んだ。	3. 中国の北京は日本の指数を大きく上回る高賃金地域となったため、日本企業は一斉に撤退を開始した。	4. タイのバンコクは日本と同等の賃金水準であるため、主に高度な技術移転を目的として進出が行われた。
問13	オーストラリアなどの国々で行われている小麦栽培において、5月から6月頃に種をまき、11月から12月頃に収穫を行うサイクルが成立する最大の理由を選びなさい。 （2022年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 白夜が発生する地域であり、11月以降の日照時間が極端に長くなるため	2. 偏西風の影響により、5月から6月にかけて急激に気温が上昇するため	3. 熱帯収束帯の影響で、11月から12月にかけて降水量が最も多くなるため	4. 北半球の国々と季節が逆転しており、11月から12月頃が初夏の収穫期にあたるため
問14	サトウキビやトウモロコシなどを原料とするバイオ燃料の利用が、地球温暖化の抑制に寄与するとされている理由として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。	2. 植物を原料とすることで、燃焼時に二酸化炭素を吸収して酸素を放出する化学反応が起きるため	3. バイオ燃料は燃焼させても二酸化炭素や排気ガスを一切排出しない性質を持っているため。	4. 石油などの枯渇性資源と比べて製造コストが極めて低く、経済活動を停止させる必要がないため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 娘を天皇の妃とし、その間に生まれた子を天皇に即位させて外戚となった	平清盛は、武家政権の先駆けでありながらも、その権力掌握の手法は藤原氏の摂関政治に近いものでした。具体的には、娘の徳子（建礼門院）を高倉天皇の妃に入れ、その間に生まれた安德天皇を即位させることで、天皇の祖父（外戚）として強い発言権を持ちました。このように、朝廷の最高職である太政大臣の地位と、天皇との血縁関係の両面から権勢をふるいました。
問2	答え 1 島根県、愛媛県、香川県	中国・四国地方にある9県のうち、県名と県庁所在地名が異なるのは、島根県（松江市）、愛媛県（松山市）、香川県（高松市）の3県のみです。鳥取県、山口県、徳島県、高知県などは、県名と県庁所在地名が同一であるため、知識の整理が必要です。
問3	答え 4 インドとブラジル	人口密度が極めて高く、国土の半分以上が農地として利用されているのはインドの特徴です。インドではヒンドゥスタン平原などの広大な平原部で農業が盛んに行われており、膨大な人口を支える基盤となっています。一方、国土の約6割が森林で、人口密度が1平方キロメートルあたり25人程度と比較的低いのはブラジルの特徴です。ブラジルは世界最大の熱帯雨林であるアマゾン川流域を擁しており、農地よりも森林の割合が圧倒的に高い統計結果を示します。
問4	答え 2 桃山文化	この文化は、天下統一を目指した戦国大名の権力や、海外貿易などで富を蓄えた豪商の経済力を象徴しています。城郭建築や金箔を多用した障壁画に代表される、力強く華やかな気風が最大の特徴です。足利義政の時代の「わび・さび」を重んじる東山文化や、江戸時代の庶民を中心とした元禄文化とは対照的な性質を持っています。
問5	答え 3 満州事変	1931年、日本の関東軍が自ら鉄道を爆破した柳条湖事件を機に開始された軍事行動です。翌年には「満州国」の建国を宣言しましたが、この一連の動きは国際連盟で認められず、日本の国際的孤立を招くことになりました。
問6	答え 3 三国干渉	1895年の下関条約で日本が獲得した遼東半島に対し、東アジアへの進出を狙っていたロシアが、フランスとドイツを誘って清への返還を求めた出来事です。日本はこの要求を受け入れ、遼東半島を返還しました。この経験は、日本国内でロシアに対する敵対心を高める要因となりました。
問7	答え 2 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた	縄文時代は、氷河期が終わり温暖になった環境に適応した時代です。すばしっこい小動物を狩るための弓矢や、木の実を加工するための磨製石器、そして食料の加工・保存を可能にした土器など、新しい道具が登場したことで、一定の場所に留まって暮らす定住生活が可能になりました。
問8	答え 2 下剋上	室町幕府の権威が衰退した応仁の乱以降、身分に関わらず実力のある者が台頭する「下剋上」の風潮が強まりました。これにより、もともと守護大名の家臣であった守護代や、さらにその下の国人が、主君を追放して戦国大名へと成長していく動きが各地で加速しました。
問9	答え 4 干鰯（ほしか）	江戸時代の先進的な農業地帯（上方など）では、商品作物を効率よく育てるために栄養価の高い肥料が求められました。千葉県のある九十九里浜は鰯漁が盛んであり、獲れた鰯を乾燥させて「干鰯」に加工し、それを商人が買い取って各地の農村へ販売しました。このように代金を支払って手に入れる肥料を「金肥」と呼び、干鰯や菜種から油を絞った後の油粕がその代表です。
問10	答え 2 1位：サウジアラビア、2位：アラブ首長国連邦、3位：クウェート	日本の原油輸入先は、西アジア（中東）の産油国に大きく偏っています。最も割合が高いのはサウジアラビア（39.7%）で、次いでアラブ首長国連邦（34.7%）、クウェート（8.4%）と続いています。なお、選択肢にあるオーストラリアは、石炭や鉄鉱石、液化天然ガス（LNG）の主要な輸入相手国です。
問11	答え 2 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。	冬の季節風は、日本海や関門海峡付近を通過する際に湿り気を帯びます。大分県の中央部には東西になだらかな山地が存在するため、この北寄りの季節風が山地の北側に吹き付けることで上昇気流が起こり、雪や雨を降らせる原因となります。この仕組みは日本海側の気候メカニズムと似ていますが、大分県特有の東西にのびる山地の配置が大きな役割を果たしています。
問12	答え 2 ベトナムのハノイなどは指数が10を下回るほど賃金が低く、低コストでの生産が可能であるため進出が進んだ。	アジア諸国と日本の間には大きな賃金格差が存在します。2016年度のデータによると、日本の製造業労働者の平均賃金を100とした際、タイ（バンコク）は14.5、ベトナム（ハノイ）は8.2となっており、アジア地域の賃金が著しく低いことがわかります。企業はこのような低賃金という利点を活かして利益を確保するため、アジア地域への現地法人設立を推し進めました。
問13	答え 4 北半球の国々と季節が逆転しており、11月から12月頃が初夏の収穫期にあたるため	地球の地軸が傾いていることにより、北半球と南半球では季節が逆転します。日本などの北半球の国々が冬に向かう11月や12月は、南半球に位置するオーストラリアでは気温が上昇する初夏の時期にあたります。この気候的特性を利用して、北半球とは異なる時期に小麦の収穫が行われています。
問14	答え 1 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。	バイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は原料となる植物が成長過程で光合成によって大気中から吸収したものです。そのため、大気全体の二酸化炭素の増減に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考え方に基づいています。これにより、石油などの枯渇性資源の使用を抑えつつ、地球温暖化の原因となる物質の増加を抑制し、持続可能な社会の実現に寄与することが期待されています。